

いりょうのひろば

Vol.244
2020.5.25

TAKA TSUKI General Hospital

- 1面 小児アレルギーについて
2面 着任のごあいさつ
3面 地域医療連携
「ひとら内科クリニック」
4面 高槻病院にはどんな医師がいるの?
救急車が新しくなりました

■図1 アレルギーマーチ



40年前に馬場実先生がアレルギーマーチという概念を提唱されました。すなわち生後すぐから食物アレルギーを合併した乳児湿疹があり、1歳頃から感冒に伴って喘鳴が起り、繰り返しおこすことで気管支喘息と診断され、さらに学童期になると、花粉症やアレルギー性鼻炎を発症します。一人の患者を成長とともにみていくと湿疹、食物アレルギー、喘鳴、鼻炎症状が個人差はあるものの、成長によってそれぞれの症状が大きくなり小なり出現します。そのような一連の症状をアレルギーマーチと呼んでいました(図1)。

食物アレルギーの予防

2007年にイギリスの小児科医であるLack博士が、食物アレルギーは結果であって、原因ではなく、すなわち環境中や母乳の中にある卵・牛乳・ピーナッツなどがバリアーメchan能の破壊された乳児湿疹の皮膚を介して、経皮的に感作され『皮膚からアレルゲンが侵入し、IgE抗体

アレルギーによって起ると仮定し、乳児湿疹から引き続いて起るアレルギーマーチを予防しようとすると、最初にアレルゲンを除去することと、それらのアレルギーマーチが阻止あるいは予防できることは当然の考え方であり、実際に行われていました。

小児アレルギーについて



高槻病院 小児科
 shinaii病院 小児科
 部長 谷内 昇一郎

2016年には乳児期にピーナッツを早期に食べさせることで、ピーナッツアレルギーが予防できるかどうかを証明するための無作為化臨床試験が行われ、見事に投与群の方が明らかにピーナッツアレルギーが少ない結果となりました。2017年には本邦で乳児期の早期の卵摂取が本当に卵アレルギーを減少させるかどうかの無作為化試験が施行され、明らかに完全除去群に比べ、早期投与の方が卵アレルギーが少ないという結果が報告されました。またそれには卵摂取前にステロイド軟膏によって徹底的に皮膚をきれいにする必要があります。

この無作為化試験が施行され、明らかに完全除去群に比べ、早期投与の方が卵アレルギーが少ないという結果が報告されました。またそれには卵摂取前にステロイド軟膏によって徹底的に皮膚をきれいにする必要があります。

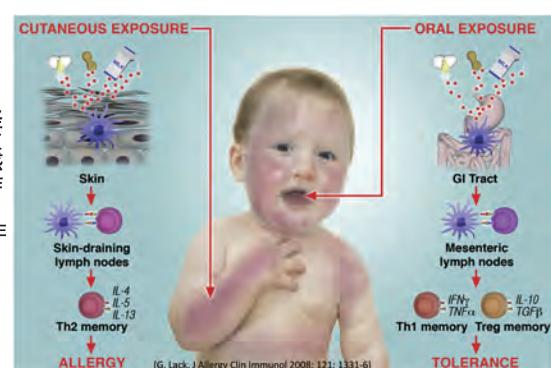
この様に今までにアレルギー素因のあることは、妊娠中・授乳中・乳児期に将来アレルギーとなるようあるので出来るだけ薄く塗布するように医師・看護師・薬剤師に指導を受けていました。そのような子供たちのアレルギーの成り立ちの考え方ですが、このように最近の食物アレルギーの発症が予防出来るのは明らかでしょう。

アレルギーの成り立ちの考え方ですが、このように最近の食物アレルギーの発症が予防出来るのはではなく、むしろ悪化するたった食物アレルギーの患者にはステロイド軟膏を使用して皮膚の炎症をとり、アレルギー食品を適量を食べ続けなければアレルギーを予防かつ治すことが可能になりました。そして小児のアレルギーマーチをも予防することができるということがわかつてきました。このよ

うな理論と報告に基づき、高槻病院では食物負荷試験で安全性を確認した上で食べて治療(経口免疫療法)と予防を行っている子供たちに少しでも役立てるならと考えています。

IgE抗体が産生され、消化管で吸収されると全身のアレルギーに対する二重抗原暴露仮説として提唱されました(図2)。また

抗原暴露仮説として提唱されたステロイド軟膏は副作用があるよう医師・看護師・薬剤師に指導を受けていました。



■図2 Dual allergen exposure hypothesis
二重抗原暴露仮説

文献 1.食物アレルギーの考え方 -除去から摂取へ- 谷内昇一郎編著 中外医学社 2014年
2.経口免疫療法 谷内昇一郎編著 中外医学社 2012年



着任のごあいさつ



病理診断科 部長 大久保 貴子
おおくぼ たかこ

病理診断科の大久保と申します。病理医は直接患者様にお会いすることは殆どありませんが、臨床の広い分野で最終診断に関わり、治療に繋げています。臨床医と協力し、より良質な診療を皆様にお届けできるよう尽力してまいります。よろしくお願ひいたします。



総合内科 医長 世戸 博之
せと ひろゆき

はじめまして。高槻病院総合内科・しんあいクリニックの世戸と申します。特定の臓器の疾患だけでなく、患者さんの生活や価値観も踏まえた全人的なケアに取り組んでいきたいと思います。主にしんあいクリニックでの勤務となります。地域の皆様に貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願いします。



糖尿病内分泌内科 医長 吉田 健一
よしだ けんいち

4月より糖尿病内分泌内科に着任致しました。糖尿病はここ10年位の間に次々と新しい薬が出て、治療の選択肢が増えてきました。お話をよく聞いて、それぞれの患者さんにあった治療法をご提案できればと思います。また、甲状腺や副腎等のホルモンの異常による病気も専門にしています。どうぞよろしくお願いします。



神経内科 医長 立花 久嗣
たちばな ひさつぐ

ほんやりする、ものわすれ、頭が痛い、けいれん、しびれ、ふるえ、めまい、脱力等のいわゆる“神経の症状”に不安を感じましたら気軽にお尋ねください。わかりやすい説明をこころがけております。



看護部 部長 作山 美香
さくやま みか

この4月より着任しました作山美香と申します。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大という大変不幸な出来事によって、大変不安な毎日を過ごしておられることと拝察いたします。高槻病院は「患者さまの満足する医療」の理念の基、常に医療サービス内容の充実に努めるとともに、地域医療支援病院として、かかりつけ医の先生方との連携を図り、救急医療を安定的に提供するとともに災害に備え、適正に対応することを方針としています。

この不安定な社会状況ではございますが、市民の皆さまが安心した生活が送れるよう常に信頼いただける医療サービスに努めて参りたいと思います。よろしくお願ひいたします。



放射線治療科 部長 寒川 光治
そうがわ みつはる

本年2月、高槻病院放射線治療科に着任いたしました寒川光治と申します。当科では、主に乳癌、肺癌、子宮癌などに対して放射線治療を行っております。その他、前立腺癌へのIMRT(強度変調放射線治療)や、脳転移などの脳腫瘍に対する定位照射も行っております。患者様によりよい医療を提供できるように頑張っていきたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。



呼吸器内科 医長 松村 佳乃子
まつむら かのこ

はじめまして4月より呼吸器内科医長を拝命しました松村佳乃子です。

高槻病院には初期研修医としてお世話になり、10年ぶりに戻ってきました。呼吸器内科専門医として皆様のお役に立てればと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。



救急総合診療科 医長 増田 茂
ますだ しげる

4月より救急総合診療科に勤務することになりました。神戸大学病院、三田市民病院、神戸労災病院を経て、地元和歌山の診療所で勤務しておりました。高槻病院のような大きな病院で再び働く機会をいただき身が引き締まる思いでございます。各診療科の先生のご協力ご指導を賜りながら、三島地区の皆様に頼っていただける存在になれるよう、精進してまいります。

一緒に年を重ねることのできる ホームドクターを目指して



関西医大を卒業後、大阪大学の医局へ入局し、消化器外科医として関連病院で研鑽を積みました。私の転機となつたのは、がんに伴う痛みを和らげる「緩和ケアチーム」のメンバーとなつたことです。痛みを抱える患者さんが病院での治療を終え、在宅診療に移行していく中で、自宅でどのように過ごされているのか、病院にいる見えない患者さんの様子が気になりました。在宅診療に携わるようになり、これまで病気の診断から治療、緩和ケア、終末期まで関わった経験から、病気の進行を少しでも遅らせるためには生活習慣の予防や治療が重要であることを痛感しました。本来、外科医は手術を行い、経過等は内科医が担当することがスタンダードですが、外科医でいらっしゃる患者さんにとつて身近なホームドクターとして、何年も何十年も一緒に年を重ねていただけるクリニックを築きたいと思いつつ、学生時代を過ごした高槻で2019年に開院いたしました。

● 専門分野と特徴

専門分野としては、プライマリ・ケアによるかと思います。医師としては消化器外科を修練してきました。外科で診療する患者

がその後の状態を左右するため、消化器外科として勤務しながら、内科外来を10年以上担当し、内科の治療経験も積んできました。その経験から内科に転科し、療養病院や在宅診療でも経験を経て現在に至ります。

がん診療に携わった経験から、合併症についても十分に理解しているので、手術の後の心配なことや、現在抗がん剤治療を受けておられる方の適切なタイミングでのインフルエンザ等の予防接種のご相談も可能です。また糖尿病のインスリン治療にも対応していきますので、内科疾患で受診を希望される方も安心してお越し下さい。

クリニックの特徴としては子どもから在宅診療が必要な幅広い年代の患者さん、そして内科から外科まで幅広い診療科の対応が可能なことです。風邪などの急性期疾患や怪我などの処置、アレルギー疾患、そして高血圧などの生活习惯病まで、お困りなことがあります。何でもご相談下さい。

● 高槻病院への要望

専門的な検査や診断が必要となるかと思います。医師としては消化器外科を修練してきました。外科で診療する患者

さんは高血圧や糖尿病などの基礎疾患を抱える患者さんが多く、術前術後の内科疾患のコントロールがその後の状態を左右するため、消化器外科として勤務しながら、内科外来を10年以上担当し、内科の治療経験も積んできました。その経験から内科に転科し、療養病院や在宅診療でも経験を経て現在に至ります。

地域医療部 築地・上田

がん診療に携わった経験から、合併症についても十分に理解しているので、手術の後の心配なことや、現在抗がん剤治療を受けておられる方の適切なタイミングでのインフルエンザ等の予防接種のご相談も可能です。また糖尿病のインスリン治療にも対応していきますので、内科疾患で受診を希望される方も安心してお越し下さい。

クリニックは「病気になつたら受診する」という印象ですが、「孫ができた」など世間話ができるくらい元気になって、また顔を見せてくださることに喜びを感じるそうです。現在は感染症も流行しており大変な時期でございますが、先生と連携を深めて地域の皆様の健康に寄与したいと思いまますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

人羅先生、お忙しい中、快くインタビューをお受けいただきありがとうございます。クリニックは「病気になつたら受診する」という印象ですが、「孫ができた」など世間話ができるくらい元気になって、また顔を見せてくださることに喜びを感じるそうです。現在は感染症も流行しており大変な時期でございますが、先生と連携を深めて地域の皆様の健康に寄与したいと思いまますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



INFORMATION



ひとら内科クリニック

Tel. 569-0055
大阪府高槻市西冠3丁目29-7 関西スーパー西冠店1階
TEL. 072-671-1700

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
16:00~19:00	○	○	○	×	○	×

休診：木曜午後・土曜午後、日曜、祝日

高槻病院には

doctor Introduction



どんな医師がいるの？

| vol.4 | 総合内科 主任部長 筒井 貴彦 先生

専門分野

総合内科では内科全般の対応を行なっています。特定の臓器、疾患のみを追求せず患者全体を包括的にケアする診療を心がけています。特に種々の病気を持っていることが多い高齢の患者の診療において活躍する機会が多く、それぞれの病気に対する治療のみならずお薬の調整や退院後のケアまで考えることが必要です。



プライベート

思春期が近い2人の娘にそっぽをむかれる前にできるだけ一緒に遊びに行っています。あとはアンチエイジング目的のランニング、スイミングを時間がある限り行なっています。個人的には大阪が大好きで大阪人として胸が張れるように大阪検定の勉強もしています。まだ3級止まりですが今年こそ2級を合格できるよう頑張ります。



患者様へのメッセージ

高槻市も他の市町村と同じく高齢化が進んでいます。健康のことや将来のことを中心されている方も多いかと思います。何かお力になれることがあるかと思いますので総合内科の外来や年に数回行なっている高齢者診療の講演にお越しいただけると幸いです。いつでも相談に乗れるよう体制を整備していく所存です。

次号は 心臓・大血管センター センター長 大北 裕先生
よろしくお願ひします！



救急車が新しくなりました



小児科・PICU主任部長 起塙 庸

当院のNICU/PICUでは赤ちゃんや小児を他院からご紹介して頂き、より高度な医療を提供してきました。しかし、その患者移動にはしばしば危険を伴います。そこで、重症児の搬送では、当院の担当医師が紹介元の病院を訪問し、必要な初療を施したのちに医師自らが同乗しています。このような「お迎え搬送」によって、万が一、搬送中に児の状態が悪化したとしても迅速に対応することができます。この度、「救急医療に役立ててほしい」と、ある篤志が多額の寄付を大阪府にされその一部で当院のドクターカーを新規に購入することができました。これからも、新生児/小児救急医療の一環として「雪だるま号(?)」による重症児の病院間搬送を積極的に行ってまいりますので、よろしくお願ひいたします。



社会医療法人愛仁会
高槻病院

高槻病院の理念「患者さまの満足する医療」

患者さまの権利

- 1.患者さま個人の人格や価値観が尊重され、医療者との信頼関係の下で、良質で安全、公正な医療を適切に受ける権利があります。
- 2.病気の診断・治療・予後などに関して、その効果や危険性、または他の方法の有無について、理解できるようにわかりやすい説明を受ける権利があります。
- 3.理解できるわかりやすい説明を受けたのち、検査の諾否や治療法の選択などについて自分で決定する権利があります。

患者さまの責務

- 1.患者さま自らの健康状態に関する情報をできるだけ正確に医療者に伝える責務があります。
- 2.病気の診断・治療・予後などに関して、理解できるまで質問をする責務があります。
- 3.すべての患者さまが良質で安全な医療を適切に受けることができるよう、他の患者さまの診療や病院の医療提供に支障をきたさないように配慮する責務があります。

愛仁会リハビリテーション病院	569-1116 高槻市白梅町5番7号	072 683 1212
しんあい病院	569-1123 高槻市芥川町2丁目3番5号	072 681 5533
しんあいクリニック	569-1035 高槻市西之川原2丁目46番3号	072 668 5000
愛仁会高槻在宅サービスセンター	569-1116 高槻市白梅町5番7号	
訪問看護ステーション愛仁会高槻	072 686 1876
ケアプランセンター愛仁会高槻	072 686 1882
ケアプランセンターーケーアイ	072 687 2536
ケアプランセンター愛仁会富田	072 692 2941
しんあいケアプランセンター	072 680 3000
ヘルパーステーション愛仁会高槻	072 686 1875
ヘルパーステーション愛仁会富田	072 692 2942
介護老人保健施設ケーアイ	569-1051 高槻市大字原112番地	072 687 0103
介護老人保健施設しんあい	569-1035 高槻市西之川原2丁目46番1号	072 680 3000
愛仁会総合保健センター	569-1143 高槻市幸町4番3号	072 692 9291
愛仁会看護助産専門学校	569-1115 高槻市古曽部町1丁目3番33号	072 681 6031